

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床免疫検査学Ⅱ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	選考中
授 業 概 要					
抗原抗体反応の臨床検査法への応用、生体内免疫反応と臨床検査及び検査値の考え方を修得し、臨床検査技師として臨床微生物学や血液検査学など他分野との繋がりを持った知識を修得する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の免疫学を理解する。 ・腫瘍免疫、移植免疫を理解する。 ・免疫学的臨床検査方法を理解するとともに、免疫学の進歩に伴う新しい検査方法の原理と応用を理解する。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	試験管内抗原抗体反応検査 反応の種類と特異性				選考中
2	試験管内抗原抗体反応検査 沈降反応と凝集反応				
3	試験管内抗原抗体反応検査 溶解反応と補体結合反応				
4	試験管内抗原抗体反応検査 中和反応とその他の免疫学的分析法				
5	試験管内抗原抗体反応検査 免疫測定法				
6	生体内抗原抗体反応検査				
7	アレルギー 総論、アレルギーⅠ型				
8	アレルギー アレルギーⅡ型、Ⅲ型、Ⅳ型、Ⅴ型				
9	感染症 ウィルス性肝炎				
10	感染症 梅毒				
11	感染症 レトロウィルス及びその他の感染症				
12	免疫不全症 AIDS、ATL等				
13	自己免疫疾患 発症機序				
14	自己免疫疾患 疾患				
15	腫瘍免疫				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や配付資料により予習と復習をすると理解が深まる。 ・講義は教科書及び配付資料をもとに実施し、適宜、視聴覚教材を用いて講義する。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
生物学、感染生体防御学					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床検査学講座 免疫検査学 窪田哲朗 他 医歯薬出版 病気がみえる vol. 6 免疫・膠原病・感染症 森尾知宏 他 MEDIC MEDIA 若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 臨床病因・生体防御検査 山内一由 MEDICAL VIEW					